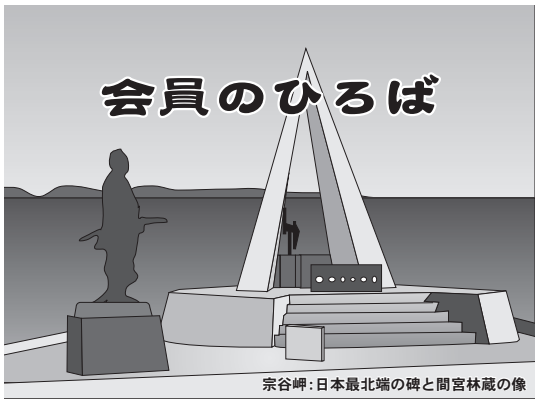


宗谷岬：日本最北端の碑と間宮林蔵の像

ファストとスロー

―東京の日帰りで感じたこと―

札幌市医師会　門脇　純一

東京は日帰りという短時間の旅でも、変わったこと、ものが多く見聞できる都市である。変化、転換の速い街なのであろう。

なかには、最初に気づかずに過ごし、2度めにやっと気づくこともある。

羽田空港は、改築され変貌してそれほど長く経ってないが、第一と第二ターミナルとの交流が便利でなく、地下の東急の改札口の脇を通って目的場所へ着くのは10分前後かかった。古い商店を探すのに一苦労した。

新しい航空会社;スカイマークの低料金は、他の航空会社の経営に大きな影響を与えずにはおけず、苦境に立たされた。低料金の期間は限定されることになろうが、乗客には喜ばれている。

低料金に対抗する処理は、すこぶる速かったように見受けられる。

ここから幾つか、モノレールについての題材をとりあげてみたい。環状線に連絡するモノレール駅；浜松町の構内に新しいトイレができた。その男性トイレになかなか粋な注意書きを見つけた。

“トイレをきれいに使っていただき、ありがとうございます;駅長”というものである。日本の注意書きは、ともすると、禁、お断りなど、ネガティブな表現になりがちである。同じことを言っているのに、ポジに受けとめられるのは、感じ方が違うのに助けられる。アメリカの国立公園の看板にもこの種のものをよく見たし、警察官の注意の仕方に感心したことを、ふと思いだした。

モノレールの電車の入口以外が防止壁になったのは何年前か忘れてしまったが、シンガポールを訪れた際にも同じものを見た覚えがある。これも日本製と聞いている。

モノレールに快速ができ、浜松駅からターミナルまで20分前後と、速く、便利になった。

そして、それにモノレールを使って環状線に乗り換えても500円と安価になった(週末)。ところが、その乗車券を購入する方法が分らないので聞いた。その回答はこうだ。機械のタッチパネルをご利用ください、とのこと。最初はピンとこなかったが、機械をよく見ると、右端、下にそのパネルを発見した。去年にはこんな機械が無かったのに、速いな。

この交通軌道を利用して、目に飛び込んでくる看板も気づかれないで、過ぎてたものが多い。建築物の壁の次の記載が妙に気になった。

それは、リコーロジスティクス、富士通ジテック、NIPPONと思ってよく見るとNIPPOの誤りで、不勉強ながら不慣れ。斜めに見たSNPは何だろう、まさか遺伝で使われているスニップ（Single Nucleotide Polymorphism）ではないよね。

速い、遅いはそれぞれ長短所がありそうだ。旅はゆっくりが良く、教育は速いが悪いとも言われる。

食文化はアメリカ人、われわれ日本人がいわゆるファストフード群、イタリーのかの有名なカルロ・ペトリの提唱するスローフード群が対比線上にある。

長寿になってきた日本人、人生に使える時間が見事に伸びてきている。ちょっとスローに人生を考え、楽しむのも一つの生き方かもしれない。

筑紫哲也氏の最近の著書；スローライフには緩急自在のすすめが副題にあり、ここに自由があると紹介している。

「日の丸」と「君が代」の歴史的考察

小樽市医師会（野口病院）　本間　勉

１．「日の丸」の歴史

①日の丸の旗の文献第1号は、今から1300年前（西暦700年）「続日本紀（ショクニホンギ）」に記録。文武天皇正月元旦のお祝いに朝廷で立てた〝日像〟という旗である。この旗は赤地の布の中心は金色の丸で16本の後光が射していたという。古代中国宮廷の祝いの行事に用いた道具であった。日本で赤地に金色を用いたのは〝日出ずる国・日の本〟即ち太陽をシンボルとした国であり天子（天皇）の色（赤）で〝火〟を表現している。平家はこの時代、朝廷を牛耳っていたので平家の色でもあった（源氏の色は白色で〝水〟を表現し、火は水で消すとした）。

日の丸の旗は、日本伝統の天照大神（太陽神を信仰）とは関係なく、中国が起源（陰陽五行説由来）であったのである。

②1185年、平家物語による〝那須与一〟が平家女官の差し出した扇（皆紅の三角布の中央に金色の日の出扇）を見事的中させ、万来の拍手を浴びた語りは有名である（四角の白地に赤丸ではなかった）。

この時与一が祈願したのは、天照大神ではなく〝南無八幡大菩薩〟であったという。源氏の先祖に新羅（シンラ）三郎義光や八幡太郎義家が居て、宇佐八幡様（新羅（シラギ）と関係深い）を信仰していた故らしい。

③1318年、南朝樹立の後醍醐天皇が、仮御所の主人に四角の白地の中央に赤丸（朱色）の旗を与えて立てさせたという。これが「日の丸」デザイン国旗の起源ではないかという学者は多い。

戦国時代には足利尊氏や武田信玄、上杉謙信等が白地に赤丸（朱）の旗（日の丸）を鎧や三角布に使用していたし、秀吉の朝鮮遠征で小西行長（キリシタン大名）は日の丸の旗を掲げて標識として戦ったという。

④1600年頃、山田長政の船団がタイのアユタヤで活躍して将軍に抜擢されたが毒殺されたというエピソードは有名であるが、この船団も日の丸（朱の丸）の旗を掲げていたという。この頃の朱丸印の旗は日本国籍を意味する朱印船として東南アジアで通用していた。幕府の鎖国令以後は沖縄を除外して大型船は海外に出られなくなったが、朱印船（幕府船籍）は日の丸の旗を掲げ、〝御城米積船〟〝千石船〟〝安宅（アタカ）船〟は幕府の御用船として幕末まで自由に航海していたという。

⑤薩摩藩主 島津斉彬と水戸藩主 徳川斉昭は、長い間用いてきた日の丸こそが日本を代表する旗であると主張して日本総船印が日の丸と決定した。

⑥1860年、日米修好通商条約批准のため、勝海舟率いる咸臨丸が日の丸を掲げて遣米使節団として渡米した時、米国市民は星条旗と日の丸の旗を振って大歓迎したという。この時初めて日の丸が国旗の扱いを受けたのである。

⑦沖縄は琉球王国時代から貿易立国として繁栄していたが船旗は常に日の丸であった。即ち三角の黄色地の中央に赤（朱）丸あるいは四角の白地に赤丸を使用していた。

琉球の日の丸は薩摩藩侵略で封印され、種子島氏が受け継いだ。薩摩旗は日の丸に十字印であった。

⑧合法的政権は幕末まで幕府だったので、軍旗は日の丸であった。上野の彰義隊も会津の松平軍も函館五稜閣の榎本軍も日の丸の旗の鉢巻きや肩章を使用していた。倒幕軍（政府軍）は菊の紋章（錦の御旗）であった。

⑨古くは日本の最高の国家的権威ある象徴である旗は「天皇旗」（日像）であり、天皇外出時に車に翻っていた。その他の行事には簡単に使用できなかったので、日の丸が代用されていた。

⑩1931年、帝国議会（明治2年）で日本国旗法案が衆議院で「日の丸」で可決したが、貴族院で天皇旗との対比で廃案となって今日に至っていた。

天皇旗は直属の軍艦旗・陸軍軍旗で16弁菊紋章が輝いている。天皇旗には最敬礼、軍旗には敬礼、日の丸には注目であった。

⑪日本には国旗が無かったので、海外の大使館や領事館では日の丸を使用し、軍艦の船首や軍の銃、紙幣、切手等には菊の紋章を使用

していたのである。
⑫日の丸は民間の旗で、国旗でなかったので風呂敷や鉢巻き（選挙戦、運動会の必勝用）等に使用していた。
⑬1999年、国会で国旗は「日の丸」、国歌は「君が代」と法制化したが、なかなか普及しないのは残念である。
　罰則が無いためという。愛国心の薄弱のせいか？

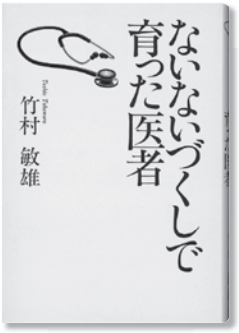
２．「君が代」の歴史
①江戸時代の「君が代」
　作者不明の「君が代」が古くから存在していたとする説があるが、曲は無かったという。
　薩摩藩には古くから薩摩琵琶「蓬来山」があり、その一節の〝君が代〟が万能祝歌としていろいろのお祝い事の時に琵琶調・義太夫風に朗詠されていた。まさに庶民（君）のための歌であったが、次第に（君）は天皇と将軍様に置き換えられて、天皇と将軍およびその一家の長寿長命・子孫繁栄を祈願する歌となった。
②明治初期の「君が代」
　明治2年、英国アルフレッド王子世界周遊の旅の途中、日本に立ち寄った折、英国軍楽隊長は日英両国の国旗掲揚と国歌の吹奏をするにあたり、日本国歌が無いので英軍楽隊の進言で、日本通訳と大山元帥が相談して薩摩琵琶蓬来山「君が代」を英国軍楽隊長フェントン氏に依頼して写譜してもらった。琵琶調の楽譜がどのような音調（リズム）（ブラスバンド）になったか興味深いが、無事終了したが吹奏したのは薩摩藩軍楽伝習生であったという。
③日の丸（国旗）も君が代（国歌）も薩摩藩主外様大名 島津斉彬が関係深いのは不思議である。
　明治3年以降は将軍祝歌は歴史から消去され、庶民の万能祝歌「君が代」は禁止、天皇の「君が代」だけが国歌選定の栄誉を受けている。

新刊紹介

「ないないづくしで育った医者」

　このたび札幌市医師会　竹村敏雄会員（昭和23年北大医学部卒）が表題の本を上梓されましたのでご紹介いたします。

産科に勤務している
看護師の内診と
我が国の助産師不足は
どこからはじまったのか――。



昭和23年、ＧＨＱの影響下で施行された
「保健婦助産婦看護婦法」
助産婦制度がないアメリカの慣習を基礎につくられたこの法律から60年近くに達した今日、新たな社会問題としてクローズアップされた今日的なテーマに迫る!!

「私の娘たちは戦後生まれで、娘たちが受けた敗戦後の日本の教育は、国も、国旗も、国家も、道徳も教えない偏向教育だったので、娘たちに私が教わった教育を教えたい。また、私がたどった変化の多い人生、数々の苦難の克服等を知って欲しいと思い、この文章を書き始めた。」（帯紙より）

著者：竹村敏雄
印刷：(株)アイワード　Tel. 011－241－9341
価格：定価1,260円（本体1,200円）